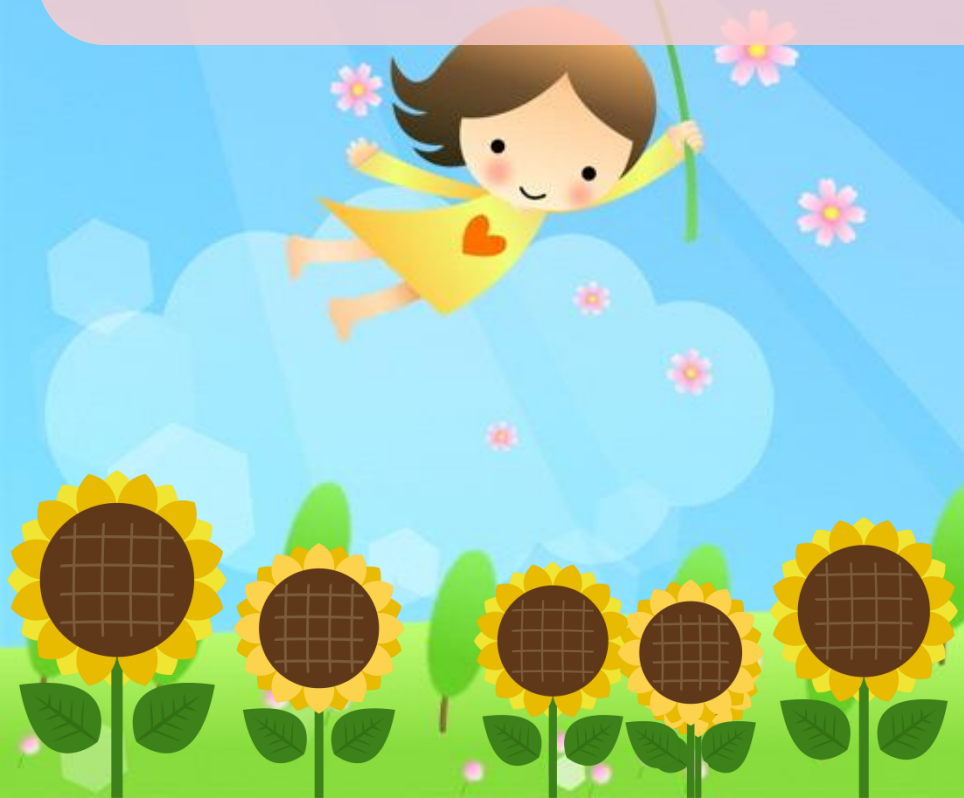
第１回　子ども・子育て会議

人見保育園の認定こども園化
～よりよい子育て環境を目指して～



平成３０年８月２９日

目　的

園児にとって「よりよい子育て環境」を目指し、
認定こども園の開園に向けて準備をする

1　幼児教育保育の充実

2　公立の幼児教育としての役割

3　多様化する保護者ニーズに対応

これまでの経緯

周西幼稚園について検討

～平成２７年
- 幼稚園運営のあり方を検討

公立としての幼児教育のあり方

平成２８年３月　策定
- 学校再編基本計画
- 学校再編の枠組みで検討

これまでの経緯

学校再編推進課

平成２８年４月　設置
- 学校再編に関する専門組織

学校再編第１次実施プログラム

平成２９年１月　策定
- 新たな幼児教育保育
- 周西幼稚園のスキル継承
- 人見保育園をこども園化

これまでの経緯

職員配置の配慮

周西幼稚園 → 人見保育園

平成２９、３０年度　配置
・計４名の教諭

これまでの経緯

認定こども園準備室

平成３０年４月１日　設置
・開園に向けた専門組織

併任

教育委員会 → 子育て支援課

関西幼稚園 →

平成３０年４月１日　任命
・これまでの経緯を継承

これまでの取り組み

- 先進地視察（全３回）
- 総合教育会議
  教育委員会会議
- 市議会での論議
- 子ども・子育て会議
- 幼児教育保育説明会（全１回）
- 周西幼稚園保護者説明会（全１回）
- 幼稚園教諭、保育士説明会（全２回）
- パブリックコメント（全２回）
- 学校再編地区説明会（全４回）

様々な形で意見聴取

主な意見

人見保育園だけでなく、市内全域に広めてほしい

保育園枠が減ってしまうのではないか

周西幼稚園の良さを継承するとわかり安心した

認定こども園がよくわからない

認定こども園の
開園に向けた取り組みについて

認定こども園について

幼稚園

認定
こども園

保育園

幼保連携型

保育所型

施設が保育園仕様

幼稚園型

保育園→認定こども園

公立での運営

地方裁量型

先進地視察

館山市	千葉市	市原市
幼保連携型	保育所型	幼保連携型

市の状況等を踏まえ、適した類型を選択

考慮すべき点

- 待機児童に影響がないこと
- 公立の幼児教育としての役割
- 幼児教育のスキルを継承
- 保護者ニーズに対応

在園状況について(8/1現在)

保育園利用者（定員）

→市内　１，１２２人（1,292人）

⇒市外　　９４人

計　１，２１６人

待機児童数

８６人（１１０人）

人見保育園利用者（定員）

→０～２歳　　５１人

⇒３～５歳　　８８人

計　　１３９人（150人）

公立としての役割

市内には4つの幼稚園

幼稚園利用者（5/1現在）

→市内	５４５人	
⇒市外	３３８人	
計	８８３人	

充足率
⇒約７０％

※充足率（在園児728人 ÷ 定員1,045人）

幼稚園は足りているが

公立の役割
セーフティネット

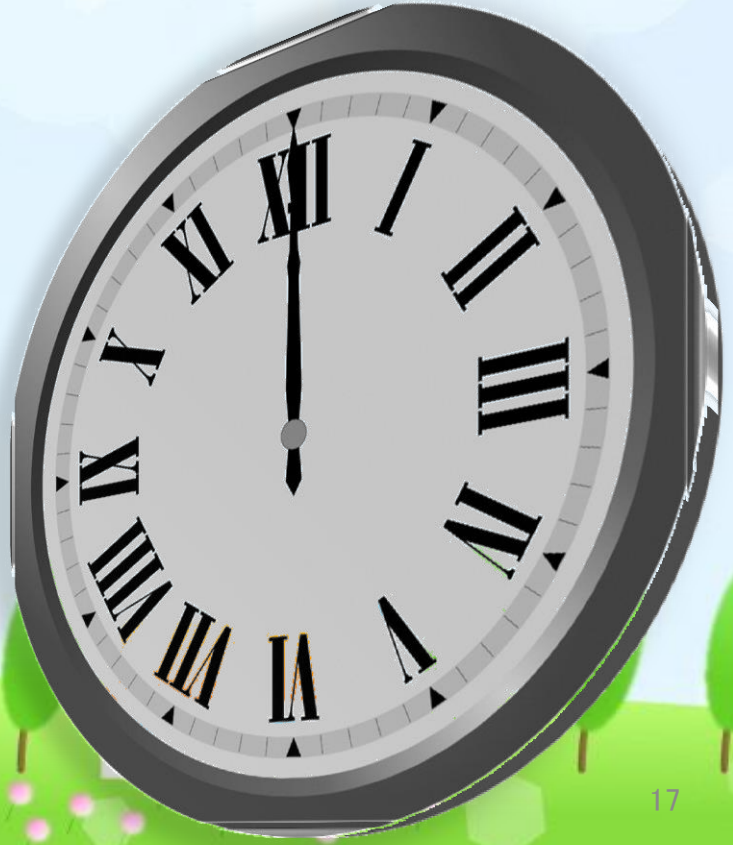
これまでの経緯

考慮すべき点

在園状況

公立の役割

今後のスケジュール等について



スケジュール（全体）

2017年度	周西幼稚園　全園児卒園年度
2018年度	認定こども園準備室設置
	開園に向けた準備
2019年度	
2020年度	認定こども園開園

スケジュール（仮）

二〇一八年度

第１回 子育て会議

- 経緯、現状の確認
- 類型の方向性について

総合教育会議

- 方向性の報告
- 教育福祉意見共有

認定こども園　類型の決定

第２回 子育て会議

- 類型決定の報告
- 定員の検討

第３回 子育て会議

- 定員設定の決定
- 今後の進め方について

よりよい子育て環境をめざして